

(8) 事業者によるその他取組について

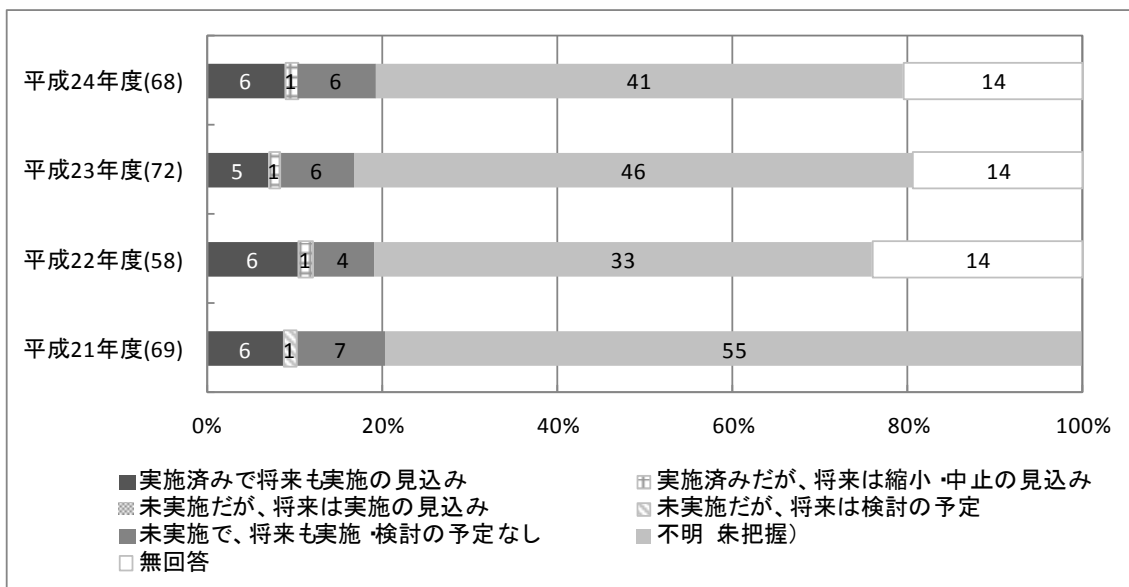
■ 今年度の特徴

「実施済みで、将来も実施の見込み」は1割弱にとどまっている。

■ トレンド

大きな変化はない。

事業者によるその他取組について（政令市・中核市・特別区）



- 「実施済みで、将来も実施の見込み」が6件（9%）、「実施済みだが、将来は縮小・中止の見込み」が1件（1%）、「未実施で将来も実施・検討の予定なし」が6件（9%）となっている。

＜その他の取組に対する特徴的な回答＞

自治体	取組内容
横浜市	賛同事業所では職場のみなさまにレジ袋や割り箸の辞退行動をとるよう呼びかけを行っております。
尼崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・店内放送やポスター掲示による啓発 ・マイバック、マイバスケットの販売
熊本市	マイバックの販売や啓発ポスターの掲示など
新宿区	「新宿エコ自慢ポイント」の実施は、多くは既に店舗で行われているスタンプカードやレシート印字の活用だが、一部の店舗はこの取組みのためにレシートに辞退のゴム印を押印している。ポイントに対する景品等の手当ては、区及びイベントを主催する環境団体が行っている。
杉並区	<p>杉並区商店会連合会では、加盟店舗において「協力金箱」を設置して、レジ袋を必要とする顧客に任意で協力金箱に 3 円～5 円の寄付をお願いしている。</p> <p>この取組みは杉並区と商店会連合会との間で協定を結んでおり、集まった協力金は区内小・中学校環境教育に役立てるため、杉並区に寄付されることとなっている。</p>
北区	レジ袋削減の啓発を目的としたイベントの開催